

イカから動物用整形材料

エーザイと新素材加工エ

ーカー、サンファイブ（本

社・鳥取市）は十五日、イ

カのスジ（軟甲）から抽出

した高分子化合物キチンを

利用した動物用の医療用整

形材料「キチパックS」と

「キチパックP」＝写真＝

を二十一日から発売する、

と発表した。キチンを使っ

た動物用医療材料は世界初

で、抗生物質の使用に比べ

て副作用の少ない外科療法

が期待できるという。

キチパックSはキチン一

〇〇%のスポンジ状。傷口

に詰めて化のうを防ぎ、

皮膚や血管の再生を促す。

生体組織への親和性が高

く、生体内で分解、吸収

される。

込んでいる。

両社は昨年十一月、カニ

の殻のキチンを化学的に処

理したキトサンの動物用医

療材料「カイトパックC」

を発売。イカから抽出した

キチンはカニに比べて結晶

構造が柔らかく、用途の広

エーザイなどが開発

キチパックPはキチンを

ポリエステル系繊維に塗っ

てフェルト状にしたもの

で、患部の固定などに使用

する。ともに一箱（五枚入

り）一万二千五百円。ペッ

トや家畜のけが用に、初年

度五千万円の売り上げを見

い製品化が可能だったとい

う。一連の商品で数年後に

は年商十億円を目指してい

る。

イカのキチンを使うこと

で伸縮性に富んだ動物用医

療材料への応用につながっ

たという。

